

## 1. <施策の概要>

基本理念	地域の連携による健康・福祉・子育て支援のまちづくり	統括課	健康福祉環境部 健康推進課
基本方針	地域福祉		
施策名	健康づくり	関連課	
方針・目標等	◆町民の健康増進。 ◆地域医療の確保。		
実施内容	◆健康増進に係る啓発・推進事業。 ◆各種健(検)診事業。		

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 国保加入者の特定健康診査受診率	%	府内平均 28.8	22	受診率			
②	乳幼児健康診査受診率	%	府内平均 95.5	22	3～4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳6ヶ月の乳幼児健診の平均			
③	健康増進活動プロジェクト参加者数	名			参加者数			
④								
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		45.0	50.0	55.0	60.0	65.0	65.0
	実績		33.7	36.6	34.6	33.9		
②	目標		100	100	100	100	100	100
	実績		97.0	96.2	94.4	95.6		
③	目標		-	100	5,000	14,500	40,000	45,000
	実績		-	3,077	14,005	35,799		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・国保加入者の特定健康診査受診率は、平成22年度に引き続き33.9%と低調である。健診の登録制度を設け運用しているが、健診登録者数と受診率との関係を含めて、調査していく必要がある。

・乳幼児健診においては、平均で95.6%の受診率であり、どうしても受診されない方には、電話連絡など必ず接触することで進めてきているが、できる限り目標数値に近づけることが課題である。

・健康増進活動プロジェクト参加者数は年々増加している。新たな参加者の増加においては、新規プロジェクトの掘り起しを行っていく必要がある。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・平成23年度に国保加入者全員にアンケート調査を実施したところ約50%の回収率であった。特に、未受診者対策として予防や早期発見の大切さを90%以上の方が理解されている結果であったことから、特定健診の重要性を理解してもらえる啓発内容が必要である。

・乳幼児期の健診受診率では、おおむね9割以上の受診率が確保できているが、他の自治体でも就園等の理由により受診率は低下しており、育児支援や虐待予防の視点からも電話連絡などで、すべての対象者に確認を行っていく。

・健康増進活動プロジェクトでは、各プロジェクトが自主的に活動されているため、当該活動がスムーズに運営できるよう促進していく必要がある。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	健康推進課	-	17,130	12,320	15,043	17,441	15,043
	健康づくり推進事業	1,400	5,451	1,580	1,350	3,748	1,350
	一般事業 153	-	1,069	1,580	1,350	1,748	1,350
2	健康推進課	-	61,081	65,945	67,613	74,099	74,099
	乳幼児健康診査等母子保健事業	16,609	33,480	36,893	35,852	42,338	42,338
	一般事業 155	-	25,393	26,357	25,464	30,020	30,020
3	健康推進課	-	62,080	67,416	71,047	84,443	84,443
	健康増進法に基づく各種保健事業	32,184	33,033	38,952	39,789	53,185	53,185
	一般事業 157	-	23,356	32,039	35,057	42,134	42,134
4	健康推進課	-	-	924	1,343	1,582	1,582
	難病患者等居宅生活支援事業	-	-	119	142	381	381
	一般事業 157	-	-	30	36	96	96
5	健康推進課	-	54,713	58,251	56,781	65,522	65,522
	感染症予防事業	37,797	41,088	52,182	50,115	58,856	58,856
	一般事業 159	-	40,596	50,937	50,115	58,856	58,856
6	健康推進課	-	-	16,952	74,960	45,619	45,619
	予防接種助成事業	-	-	10,949	67,903	38,562	38,562
	一般事業 159	-	-	7,917	33,871	19,616	19,616
7	健康推進課	-	17,027	44,815	43,701	24,091	44,539
	国民健康保険病院事業特別会計繰出金	10,184	9,877	35,734	39,162	19,552	40,000
	一般事業 165	-	9,877	35,734	39,162	19,552	40,000
8	健康推進課	-	9,512	11,566	13,803	10,958	10,958
	保健センター運営事業	8,690	8,468	8,528	11,274	8,429	8,429
	一般事業 165	-	8,113	8,146	10,827	8,214	8,214
9	健康推進課	-	6,141	5,630	7,497	8,796	8,796
	人間ドック検診等保健事業	3,334	4,532	3,904	3,641	4,940	4,940
	一般事業 157	-	4,392	1,211	1,002	2,417	2,417
10	健康推進課	-	3,272	3,866	6,407	6,303	4,211
	保健衛生一般経費等2事業	200	207	346	1,055	951	451
	-	-	207	253	246	351	351

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・成人期の健康づくりでは、平成23年度において国保加入者全員にアンケートを実施した際に、特定健診の登録制度の勧奨を行った結果、200名強の方が登録された。

・妊娠期及び乳幼児期の健康づくりでは、育児支援と虐待予防を推進するにあたり、養育力の弱さなど複雑な問題に対応しながら、情報共有も含め関係機関との連携を図ることができた。

・全体的な健康意識の底上げとして、計画の柱に病気予防のみでなく、元気増進をとりいれ、引き続き仲間づくりや生きがいがづくりなどに取り組むことにより、個々の健康づくりの継続につながることができている。

#### 5. <施策の今後の方向性>

・平成23年度において国保加入者全員にアンケートを実施した際、特定健診の登録制度の勧奨を行った結果からも、今後も他の文書発送する際には、受診率向上を目指すために必要に応じて対策を講じていく必要がある。

・乳幼児期の健康診査の受診では、育児支援や虐待予防の視点からも、未受診者の確認作業を引き続き行っていく。

・成人期や乳幼児期ともに病気予防と元気増進を目標に、健康診査における相談の充実、情報発信、仲間づくりを中心に、引き続き展開を図っていくとともに、関係部署との連携を引き続き図っていく。

・町全体の健康づくりの実態を把握しながら、第2期健康増進計画の策定を行っていく。